

恵光院

Ekouin
(和歌山県高野町)



一度行ってみたいと思っていた高野山参り。今回、その機会を得ることができた。高野山とは、一言で言えば、約 1150 年前に弘法大師・空海が開いた密教の聖地であり、今や世界遺産である。

高野山にはたくさんの寺院があるが、いくつかの宿坊もある。宿坊とは寺院に併設された宿泊施設であり、元々は僧侶や参拝者等の信者が宿泊するための施設だ。しかし、高野山の宿坊に宿泊するのはほとんどが観光客である。

今回紹介するのは恵光院という宿坊の風呂だ。恵光院の風呂を紹介する前に、恵光院でのスケジュールについて触れておきたい。まず、チェックイン後、16:30 から阿字観（あじかん）道場にて瞑想「阿字観」がある。所要時間は約 40 分。僧侶が瞑想の方法を教えてくれる。17:30 から精進料理の夕食。肉魚はなく、タンパク質は豆腐のみ。19:00 から 1 時間半ほどのナイトツアー。奥の院までの片道約 2km、往復 4km を、若い僧侶の案内で巡る。翌朝 6:30 からは本堂にて「朝勤行」、7:30 からは毘沙門堂にて「護摩祈祷」。8:00 からやっと朝食で、これまた質素な内容。これら以外に、写経はいつでも可能だ。写経は道具を借りてきて、客室で行う。道具は筆ペンと、下敷き、薄くお経が書かれていてなぞればよいようになっている写経紙の 3 点だ。以上、すべて参加は自由で、ナイトツアー以外は無料であり、ナイトツアーは 2,500 円である。

恵光院の風呂は 1 階にある。脱衣室には脱いだ物を入れる籠が 6 個。ロッカーはない。客室は内側からしか鍵をかけられないので、貴重品の管理には結構困る。洗面台は 3 個あり、使い捨ての髭剃りが置か

れている。浴室はシンプルで、洗い場が6か所あって、定員4人くらいの浴槽があるのみだ。内装はタイル張りで、落ち着いた雰囲気。シャンプー、ボディソープは具備されている。宿坊とは言え、何不自由ない入浴を味わえる。ありがたい限りだ。

高野山には複数の宿坊があるが、温泉を有する宿坊もあるという。残念ながら恵光院の風呂は温泉ではない。

恵光院の僧侶によれば、空海はまだ生きているという。そして奥の院の一番奥にある御廟にいるのだと。

神聖な雰囲気のある高野山。観光客の楽しみは宿坊によって支えられている。



DATA

名称	恵光院
所在地	和歌山県伊都郡高野町高野山 497
電話	0736-56-2514
営業時間	16:00~22:00、朝風呂は要確認
定休日	無休（要確認）
入浴料	宿泊者は無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2022年5月5日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	なし